

2/ 3~5 武雄市児童交流事業 ようこそ雄武町へ

2月3日から3日間の日程で、佐賀県武雄市訪問団の児童11人、引率者3人が来町しました。町民センターで歓迎会が行われ、町長や町関係者から歓迎の言葉が贈られ、武雄市児童からは歌の披露が行われました。また、雄武小学校で行われた学校交流では、雪国ならではの雪山滑りなどで、雪にまみれながら冬遊びを満喫していました。最後は別れを惜しみながら、大きくなってからの再会を誓い、互いの絆を深めていました。



↑別れを惜しむ児童たち

2/ 14 雄武中学校パソコン部写真撮影講習会 撮影の基礎を学ぶ

この日、雄武中学校のパソコン部が町の広報担当者講師に招き、撮影時に気をつけていることや一眼レフカメラの操作方法などについて学ぶ「写真撮影講習会」が実施されました。講習会では、写真や図を用いてカメラの設定や写真の構図などについて説明。その後、実際にカメラを操作して吹奏楽部の練習風景などを撮影しました。生徒からは「今回学んだことを次の活動に活かしていきたいです」などの声がありました。



↑講習会の様子

↓糖尿病について説明をする百瀬氏



2/ 6 令和5年度健康講演会 糖尿病の予防について

この日、町民センターで「糖尿病予防に関する健康講話」が開催されました。札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科学科長の百瀬いつみ氏が講師となり、体内時計を考慮に入れた「時間栄養学」についての考え方と糖尿病を予防するための食習慣などについて講話。参加者に「食生活の中で《お腹がいっぱいになればいい》ではなく、心と体が元気になるために、どんなものをどんなふうに食べればいいのかについて考えてほしいです」とアドバイスしました。

↓定期総会の様子



2/ 18 令和6年雄武町統計調査員協議会 創立50周年記念総会 50周年を迎えて

ホテル日の出岬で、令和6年雄武町統計調査員協議会定期総会が行われました。同協議会会長原哲夫会長は「50周年を迎えて、設立の目的である『雄武町の発展に寄与するため、統計思想の普及、会員相互の統計技術の向上と親睦を深めること』を目標に、本協議会の発展を推進していきたい」と挨拶しました。また、今回は同協議会が創立してから50周年を迎えることを記念して、記念誌とともに50年の歩みを振り返りました。



まちのできごと

2/ 1 感謝状授与 漁港の維持管理に寄与

地域貢献活動として、沢木漁港および元稲府漁港内に堆積した流木の処理、町内小学校児童に対して工事作業現場の見学やドローン操作体験などの出前授業を実施した株式会社西村組および西村・菅野・新島経常建設共同企業体に対し、高橋町長から感謝状の贈呈が行われました。あたたかいご奉仕をありがとうございます。



↑写真左から、(株)西村組西倉風太主任、高橋町長、同社池本拓哉主任、同社笹岡広道工事長

2/ 15,19 町の産業や歴史を学ぶ

雄武小学校の4年生が町内に住む高齢者などから雄武町の暮らしや産業などの歴史を学ぶ授業が3回に分けて実施され、町民5人が講師として教壇に立ちました。授業では、昔の漁業や酪農、林業、生活や雄武町の移り変わりなどについて、過去の写真や実際の道具などを用いた解説がされました。児童たちは積極的に質問などをしたり「知ってる場所でも昔と今で景色が変わっていて驚いた」などと話していました。



↑授業の様子

2/ 3,4 子ども冬まつり、キャンドルナイト 寒さに負けず元気に遊ぶ

旭日公園で「こども冬まつり」が開催されました。前夜祭では、同所で開催されたおうむキャンドルナイトのあたたかな灯に照らされた中で、児童によるハンドベルの演奏が披露。最後に、花火が冬の夜空を彩りました。本祭では、スノーモービルやスノーフラッグなどのアトラクションのほか、あたたかいお雑煮やサンドイッチなどが振る舞われました。子どもたちは寒さに負けず、元気いっぱい冬を楽しんでいました。



↑スノーフラッグの様子